



留学生と語り合う No. 96

RKK ニュース (2024 年夏号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

第 15 回通常総会 & 懇話会開かれる

2024 年 5 月 5 日に神奈川県民センターで RKK 通常総会と懇話会を開催いたしました。会員の皆様のご協力により、議案が承認され、無事、総会を終えることができました。総会終了後には、久しぶりにグループに分かれての懇話会を開き、「RKK 活動グループへの期待」をテーマに、自由にそして和気あいあいに懇談することが出来ました。

2024 年度スローガン：

「RKK の活動理念をもとに、全員で活動を楽しもう！」

活動指針：

RKK の目的：

留学生が日本での留学を終えたとき、「日本に来てよかった」と回想してもらえるように、出来る範囲で留学生を支援することです。このことにより、親日家が増えることを期待します。

RKK のモットー：

みんなで、少しずつ会の運営に参加しながら、留学生がハッピーになるように、出来る範囲で、楽しくやりましょう。

「3 つの絆」作りを大切にします；

会員同士の絆、会員と留学生の絆、留学生同士の絆

重点活動目標：

- ・みんなの参加で RKK を盛り上げよう！
- ・会員間のコミュニケーションを深め、前進しよう！
- ・正会員、留学生のリクルート活動を全員参加で推進しよう！
- ・あらたな発想と創意工夫で各種イベントを展開しよう！
- ・きめ細かなマッチングで 1 対 1 の交流を促進しよう！
- ・各地区交流会間の懇談会や共同イベントを推進しよう！
- ・日本語支援情報交換会や学習会など小グループ活動を推進しよう！
- ・RKK ウェブサイト、RKK ホームページを有効活用しよう！
- ・RKK 創立 25 周年記念事業をみんなで成功させよう！

Holding the 15th annual general meeting and a group gathering

The RKK annual general meeting and a group gathering were held at the Kanagawa Prefectural Center on May 5. The proposals were approved by RKK members without any problems. After the meeting, a group gathering was held in a while with the theme of “Expectations for the group activities of RKK”, and we discussed it freely and friendly.

The slogan for FY2024

“Let’s enjoy our activities all together based on the mission of RKK!”

Activity Guidelines:

RKK’s purpose; We support international students as much as we can so that they could feel glad to come to Japan after finishing their studies. Moreover, we expect to make more fans of Japan.

RKK’s motto; Let’s enjoy ourselves as much as possible to make international students happy while every member participates in our operations in some way.

We value “three bonds”; among members, between members and international students, and among international students

Priority Activity Targets:

- ・Liven up RKK by everyone’s participation!
- ・Deepen communication between members and move forward!
- ・Promote recruitment of new RKK members and international students by all members!
- ・Hold various group events with new ideas and creativities!
- ・Promote one-to-one exchanges based on detailed matching!
- ・Hold meetings and joint events between each area groups!
- ・Promote small group activities such as information exchange meetings for Japanese support and study meetings!
- ・Utilize RKK website and homepage effectively!
- ・Make RKK 25th anniversary projects successful together!

(translated by Azusa Sugita)

お知らせ

社会見学 すいどうきねんかん やぶさめしんじ 水道記念館 流鏑馬神社 (寒川神社) 9 月 19 日 (木) ⇒

npo RKK

退任のご挨拶

前理事長 深水 智明

このたび、RKK 理事長を退任いたしました。

RKK の創設に加わり 25 年、理事長として微力ながら 10 年もの長きを務め、齢を重ね、自分の限界を思いました。皆様にご迷惑をおかけすることはもって避けるべきと、新しい役員の方々に望みを託し、未来ある RKK の再出発をお願いしたいと思います。皆様には、数知れぬ多くのご指導、ご支援を賜りましたことを心より深く感謝申し上げます。

これからは萩原新理事長のもと、まずは会員皆様のご希望を踏まえて、従来に増して前向きで喜びのある活動ができますことを大いに期待しております。

RKK の活動では、学びに熱心な留学生との 1 : 1 の語り合いによって緊密なお付き合いができ、留学生が社会人になってもその強い絆は解けません。一方、留学生を含め多くの方々との交流活動、地区交流もあり、これらの活動が相まって交流が広まり、絆が強まりました。

RKK は、本年創立 25 周年を迎えました。振り返りますと、皆様ご存じのとおり、まず、直近では、・コロナ禍による活動様式の変化（例えば、オンライン方式による活動の広がりや定着）など数々の変化、さらに、・日本語支援中心から日本での就職の増加に伴う就活・キャリア支援の広がり、・日本文化に関心を持つ留学生が増え、工夫を凝らした日本文化を体験する機会の増加、・見学活動では、社会、企業等の対応変化に応じて、「工場見学」から「社会見学」への見学対象の広がり、・外国語学習会は、昨今のベトナム留学生の増加を反映し、新たにベトナム語学習会の開設など、その他、この 25 年間で様々な変化がありました。

RKK には、現在、留学目的の変化、国際情勢の変化、政府施策の変化などに伴う留学生事情の変化、そして、高齢化、人手不足など日本社会の変化に伴う支援対応の変化等々の影響による課題もあります。現在は会員・留学生のリクルート活動への注力、かつ、地区交流などへの新しい対応が強く望まれます。

RKK において、数多の学びとそれによる新たな喜びをいただきました。年齢を経ってから RKK で新しい交流と励まし合いに接し、また、留学生皆さんと交流し、新たな情報や考え方などにも触れ、人生の多様化ができ、嬉しい思いを強くしています。これまで大禍なく活動を楽しむことができましたことは偏に皆様のご支援、ご協力のおかげと心から御礼申し上げます。

先に RKK ニュースを通じ、山田光義顧問（元横浜国大教授）から“継続は力なり”の激励のお言葉をいただきました。未来志向に希望を託し、留学生との交流を深めボランティア活動の甲斐を高め、RKK のさらなる前進を望みます。かけがえのない白秋を謳歌しましょう！

今後共、活動が安全に恙なく進みますよう念願し、また、会員皆様、留学生皆様の益々のご健勝、ご繁栄を祈念します。

地区からのたより

東地区からのたより

東地区 鈴木 隆



6月9日の日曜日に、新年度になって初めての東地区交流会を開きました。今まで交流会は武蔵小杉の川崎市民活動センターで開いていましたが、今回は初めて県民センターのフリースペースで行いました。理由は、その方が多くの方にとってより便利である事と、以前の場所ではオンライン会議の開催に制約があり、留学生の参加に少しハードルが高くなる為です。県民センターであれば留学生も対面で参加出来る可能性が高くなります。今回はいつもの様に会員各位からの報告、連絡、相談に加えて、途中から横浜国立大修士2年生のパキスタン人留学生のファルークさんがこちらの要望に応じて対面で参加してくれました。ファルークさんからは自己紹介や、日本での就職活動の状況などを話して頂きました。来日してから1年半ほどで交流会で会員の皆さんと会話出来るまでに日本語が上達された事に一同はびっくり。チューターの細井さんの尽力もきっと大きかったものと思います。ファルークさんは9月に卒業して、10月からは外資系の半導体メーカーに勤務する予定です。交流会が終了した後は、久しぶりに懇親会を開いて色々な話題で盛り上がりました。前は2019年12月が最後でしたから、コロナ禍を経て実に4年半ぶりの懇親会となりました。次回もこの様な、留学生との交歓や会員同士の親睦をはかっていきたいと思っています。

第6回地区スタッフ懇談会について

南地区 永作 重夫

6月23日のスタッフミーティングの後で地区交流会スタッフが集まって、第6回目の懇談会が開かれました。前回の日本語支援の書籍情報についての現状についての説明があり、すでに3地区からは情報が提示されました。その内容は文書としてRKK会員へ配信されました。しかしながらまだまだあるかと思しますので、未提出の地区（西、南、湘南）に再度地区に持ち帰り会員への協力を依頼することとなりました。また地区スタッフ間の情報共有ツールとして、専用メーリングリスト（連絡先グループ）を作成していくこととなりました。アドレスが設定されたら、今後地区交流会開催、イベント開催、議事メモ送付など、地区スタッフから一般地区会員にメール送信する時は、必ずこのアドレスをC.C.に入れて情報の共有をはかることとします。本アドレスで受領したメールの一般地区会員への情報共有要否は各地区スタッフで判断することとします。今後の情報共有の和が広がることを期待しております。

外国語学習 G

毎週楽しく参加！



ベトナム語講座 宮崎 明子

ベトナム語はまったく初めてで、不安でした。案の定、なかなか単語も覚えられず悪戦苦闘しています。これは参加している皆さん、程度の差はあれ同じようで、チャレンジャー同士、励まし合っています。ベトナム語は難しいですが、フォン先生が私たちに合わせて、分かりやすい教材を作り、納得いくまで日本語で説明してください。講座は分かりやすく、毎週楽しみにしています。とても質問しやすい雰囲気、疑問に思ったことは気軽に質問でき、その場で詳しく説明していただけます。次々に質問が出て、話が広がっていくこともあります。講座が始まった頃は、何を質問していいか分からなかったのですから、少しは上達したと言えそうです。質問に日本語で答えていただけるのは、ベトナム人留学生のフォン先生だからこそと感謝しています。

ベトナム語だけでなくベトナムの文化も紹介していただいています。ベトナムも日本も古くから中国の影響を受けて、言葉の中に中国語が入っています。漢越語と呼ばれ、発音は少し違いますが、漢字が連想できる言葉もあります。そして家族をととても大切に、年長の人を敬う（最近、日本では薄れてしまっていますが）ことなど、日本との共通点が多くあります。人称代名詞は話す相手との年齢差によって変わります。自分の両親より上か下かで人称代名詞が違うのには、驚きました。ですから知り合いになると、女性でもお互いの年齢を聞いたりするそうです。

発音が難しいベトナム語ですが、いつかベトナム語で話ができたらと思って、毎週楽しく参加しています。

発音が難しいベトナム語ですが、いつかベトナム語で話ができたらと思って、毎週楽しく参加しています。

先生が我が家に



中国語講座 有泉 佳子

RKK のスピーチ大会の日（権明先生が素晴らしいスピーチをされた日）に我が家に起きたことです。夕方買い物に出ようと家を出たところで北軽井沢の坂を花束を抱え上がっていらっしゃる権明先生とガールフレンドさんにバッタリ出会いました。「我が家に寄ってお茶でも」と申し上げると喜んで寄って下さいました。手作りのケーキとコーヒーでおもてなしました。日本に来て 家に招かれたのは初めてですと

喜んで下さいました。喜ばれる様子を見て ずいぶん古い話ですが 亡夫がRKKの留学生に日本語を教えておりました関係で RKKホームビジットを我が家で開催したことを思い出しました。それらについて書きます。まず一つ目は 家の近くの中学校庭での盆踊り大会に 10名の留学生が浴衣を着て参加しました。その日はカレーをたくさん作りました。RKKの高島さんがサラダを持ってきてお手伝い下さいました。その日亡夫の生徒のタイ人留学生が日本人女性をお連れされたのが印象的でした。留学が終わって



帰られるとき結婚されました。

2つ目は1つ目のタイに帰られた方の友人でタイ人留学生です。やはり亡夫が日本語を教えました。お母さんと叔母さんをお連れになりました。叔母さんは日本で幼児教育を学び タイで幼稚園の園長さんだそうです。ちらし寿司をきれい♥と喜ばれました。

その他おせち料理をご馳走したり着物をお着せしたりしました。本当に楽しかったです。有難うございました。



留学生からのたより



Journey in my Totoro land

横浜国立大学大学院 Sadia Noon Oishe (Bangladesh)



I grew up watching Ghibli studio movies. I never imagined I could stay in my dream anime country. As a mechanical engineer, Japan is one of the most advanced in machinery and technology. However, living alone in Japan as a foreigner is little tough as I don't know Japanese. Then I was introduced to the RKK organization by my friends and all of a sudden, my life changed. I learned a lot about Japanese culture festivals and traditions. Still, it is not enough because there are some social manners and ways of talking which I do not have any idea about. There comes my kind tutor Noriko-san, with her kind guidance, now I know better about Japan. She is so kindhearted person with whom I can talk and share my Japan life. She teaches me a lot about Japanese language and social norms. I am grateful for RKK because it makes my Japan life easier, more comfortable, and more enjoyable. All the RKK members are really welcoming. Their social tool program is one of my favorites because they explain a lot about the history and different aspects of Japanese life. Seeing those RKK energetic members working together for the betterment of foreign students melts my heart. I will never forget RKK. It holds a special place in my memory. (原文のまま)

小さいころ、私の国には日本の映画がたくさんありました。子供向けの映画として、例えばドラえもんや名探偵コナンをよく見ました。映画を見ているときに、道や建物、そして文化がとても面白く感じました。いつかこの国を見に行きたいというのが私の夢でした。どうやって行けばよいかはわかりませんでした、必ずできると信じていました。

ある日、コナンの漫画をたくさん買ってきました。高校生になってもよく読んでいて、小さいころの夢を持ち続けていました。結局、土木工学を専攻することになり、学生時代はとても忙しくて大変でした。最初は土木工学について一度も考えたことはありませんでした。高校を卒業したらすぐに働きたかったのですが、運命は誰にもわかりません。

ある日、日本の大学で土木工学の修士課程を優先的に学ぶ機会を提供する奨学金プログラムの発表がありました。私はその時、夢を思い出し、申し込みをして合格しました。本当に嬉しかったです。最初は土木工学を選んだことを後悔しましたが、それは間違いでした。それは夢への架け橋だと考えるようになりました。日本に初めて行った時はとてもドキドキしました。それが夢だと思っていましたが、羽田空港に足を踏み入れた時に目が覚めて、これは夢ではなく現実だと気づきました。

今でも10年前のことを忘れていません。博士課程も前のおかげで感謝しています。やはり小さいころの夢の力が日本への架け橋となりました。最近、日本での生活はRKKコミュニティの様々な活動のおかげでより豊かになりました。RKKの皆さん、家族の一員として招待し、参加させていただき、ありがとうございます。

(原文のまま)



社会見学 G

けんがくかい かんそうぶん 見学会の感想文

東京英語専門学校 陸 婷婷 (中国)



今回の見学は二ヶ所である。まず、午前中に、印刷博物館を見学した。印刷工房でRKKのチューター先生と一緒に活版印刷を体験した。博物館のスタッフの詳しい解説に従い、一步一步印刷の作業に取り組んだ。最終的に自分たちが印刷した言葉のカードを作った。現代社会において、携帯電話やパソコンで文字を読むことと本で読むことでは感覚が異なっている。活版印刷物の美しさを表現できるように、フォントの間の隙間の大きさを精密に計算する事が一番難しいと思っている。また、館内の常設館も自由に鑑賞した。テクノロジーによって、図形と文字が組み合わせられ、印刷の日本史と世界史が展示されており、印刷文化に関する



理解を深めることができました。午後、プロを支えるプロの街、浅草かっぱ橋道具街に行った。この長い歴史ある道具街は、世界各国の食器やキッチン設備、日本の伝統看板などの専門店が集まっている。昔、この地域は洪水被害を受けやすく、合羽川太郎という人が掘割工事を始めた。隅田川の河童たちはそれを見て、毎夜工事を手伝ったという伝説があるそう。そのため、この街には河童の絵がよく見られる。河童は商売繁盛の象徴とされている。しかも、道具街の中央のポケットパークには、金色の「かっぱ河太郎像」もある。かっぱはこの街を守っていると思われる。以前にこの街を通ったが、今回のRKKのチューター先生と見学して、いろいろな紹介をしてくれた。この道具街の文化的魅力を新たな角度から見て取れた。



要するに、印刷博物館では、活版印刷について具体的には何かを深く体験させてくれた。一方、浅草かっぱ橋道具街の見学は、この街の文化の煌めく魅力を発信していると感じられる。この一日の見学会は大変勉強できたし、とても楽しかった。とも言え、そしてすごく充実した一日を過ごすことができた。このような貴重な見学機会を提供してくれてありがとうございます。案内してくれたチューター先生たちに心より感謝いたします。(原文のまま)

第80回 社会見学G コメント

今回は7か国7名の留学生の参加がありました。以前はほぼ一か国集中でしたから様変わりです。また、最近ではドタキャン・遅刻が減り、今回も全員参加でした。印刷博物館は予約可能な最大枠で申込みましたが、それ以上の申し込みがあり一部お断りする事態となり申し訳ありません。まともに歩いても大変なところ、道を間違え更に歩行距離を伸ばしてしまいました。重ねてお詫び申し上げます。なお、今回から高性能ハンズフリー拡声器を導入しました。今後の効果が期待されます。(山口記)



文化ファミリーG

七夕まつり

横浜国立大学大学院 Pham Hoang Oanh (Vietnam)



Although it was my second year in Japan, it was my first time participating in the Tanabata festival in Hiratsuka. The festival left a deep impression on me, not only because of the grandeur of the dazzling decorations that I had never seen before, but also because of the enthusiasm of the people, which dispelled the summer heat. During this exchange, I made new friends and had conversations with the elders at RKK.



My favorite part was after strolling through the festival, when we

returned to the gathering point, introduced ourselves, and shared our wishes hung on the bamboo trees. These moments helped me better understand the purpose of RKK, not just as a place where international students receive guidance from elders, but also as an opportunity for mutual learning, sharing, and discussing various cultural topics. I am very grateful for being part of RKK and wish that more international students come to know about RKK, wish everyone remains in good health. (原文のまま)



湘南ひらつか七夕まつりに併せ恒例のRKK七夕祭りを開催しました。平塚市中央公民館3階大会議室を会場にして総勢19名が参加しました。(日本人会員11名、横浜国大留学生3名、フェリス女学院大学学生5名)

今年度の参加者は19名とRKK七夕祭りとしては過去最少に近い参加者でしたが参加者全員、猛暑にも負けず交流会、神社参拝、七夕飾り散策を楽しみました。

徳屋 英生 (文化ファミリー交流グループ)

川柳を楽しむ

留学生との語り合い交流や、留学生の文化体験と口語調日本語学習に役立ちますとして前々号(94号)において川柳の投稿をお誘いしていましたが、その際の次の2句をここに紹介します。

杖友に八十路を越えてハイキング スギ

面接の順番を待ち空気読む ひぐらし

RKK会員の元気な姿と、面接を待つ際に誰もが持つような気持ちが伝わり、共感を覚えます。

語句の発見が川柳表現のポイントです。そこで、今号では語句に関係する穴埋め川柳を楽しみます。自由吟や課題吟の作句に劣らず楽しみながら自分なりの感性のある語句を探して川柳に仕上げます。次に示した川柳の〇〇の部分に自由に文字を入れます。〇印が1文字です(ひらがな、カタカナ)。

留学生浴衣が似合い〇〇笑顔

〇〇の2文字を下段の投稿先にお送りください。共感が得られる人気の語句を知るのも楽しみです。

併せて自由吟の投稿もお待ちしますので、同じ投稿先にお送りください(1回1人2句まで)。

穴埋め川柳および自由吟の投稿先：<https://forms.gle/z3AQc2VEd1wPeYvA9>

投稿期限：2024年12月25日(水) (随時何回でも受け付けています)

投稿できる人：留学生、会員、RKK入会希望者

発表：RKKニュース誌上等で発表を予定しています



岩瀬 暢男 (文化・ファミリー交流グループ)

キャリア支援委員会

オンラインサロンと RKK

オンラインサロン形式での RKK 活動として 2021 年 7 月に開始した「オンライン読書会」、続けて 2023 年からの「オンラインサロン」を実施していますが、一連の結果からオンラインサロンが RKK 活動の一つの形として大変に役立つことが明らかになりました。“読書会” 1~9 回、“サロン” 1~12 回については RKK ニュースで No. 88、No. 91 として報告してきていますので、ここでは“サロン” 13~24 回について報告するとともに、その中で見えてきた課題や方向性について私見を述べたいと思います。

「キャリア支援オンラインサロン」第 13~24 回のテーマ名等を次に示します。

- ✓ 第 13 回「RKK 登録留学生の就活ロールモデルについて」ほか自由話題（2023 年 4 月）
- ✓ 第 14 回「外国人留学生の国内就職目標 6 割および留学生受け入れ目標 40 万人と RKK 活動について」(5 月)
- ✓ 第 15 回「生成 AI（人工知能）のキャリア支援活動での利用と著作権の保護について」(6 月)
- ✓ 第 16 回「長期インターン(就業体験) の現状と採用選考前倒しを考
える」(7 月)
- ✓ 第 17 回「『何者』(朝井リョウ著)就活生の心の内面を識る」(8 月)
- ✓ 第 18 回「メタバース就活が広まっている」(9 月)
- ✓ 第 19 回「『バカの壁』(養老孟司著)から就活語り合いを考える」(10
月) サロン開始画面の例⇒
- ✓ 第 20 回「アクティブリスニング（積極的傾聴）とキャリア支援を考
える」(11 月)
- ✓ 第 21 回「2023. 3 卒の県内元留学生の進路データを読み解く」(12 月)
- ✓ 第 22 回「ライフキャリア支援と日本語習得支援について考えるー現代川柳を通しての日常語の効用ー」
(2024 年 1 月)
- ✓ 第 23 回「経理の話題でキャリアデザインの語り合いを深める」(2 月)
- ✓ 第 24 回「ナラティブ・キャリア支援について考えるー支援しない支援の語り合いー」(3 月)



総括として、サロン本来の自由さから 1 委員会だけの話題範囲では収まらないことが痛感され、RKK 全体の広い分野に通じるものが求められていたものと思われまます。これを実現する姿はまだありませんが、マッチングサイトを利用して日本語の語り合いをする留学生に接すると、会員同士だけでなく留学生とも気軽に語り合いの可能なサロンの姿が望まれていそうです。

以上

岩瀬暢男（前キャリア支援委員会スタッフ）

新入正会員の皆さま：よろしくお願ひします！

嶋野礼子（藤沢市）、山岸由里子（川崎市）（順不同）

留学生の皆さんへ／To International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation) ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting/ Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田(Tsuda) e-mail : sakura_tsudakei@yahoo.co.jp

Website : <https://sites.google.com/view/newrkk/>

おもな活動 (2024/5 から 2024/7 まで)

通常総会・理事会

◇5/5 午後、かながわ県民活動支援センター305号室にて、理事会と第15回通常総会を開催し、役員の新任、再任および退任も含め議案は承認された。

本年度のスローガンは、「RKKの活動理念をもとに、全員で活動を楽しもう！」

総会終了後に、RKK懇話会を開き、4グループに分かれて「RKK活動グループへの期待」をテーマに懇談。

スタッフミーティング

◇6/23に2024年度第1回スタッフミーティングを開催。新任スタッフも含め18人のスタッフが参加。

2024年度新スタッフ体制の確認と本年度重点活動目標を踏まえてG&C(報告、連絡、相談)を実施。

また、RKK25周年記念事業「留学生50人の声」プロジェクトの説明、地区交流会スタッフ懇談会も実施。

活動グループ

◇日本語支援G: 支援相談、教材紹介・管理など活動の見直し。イベント、スピーチ大会の実施内容の検討。

◇文化・ファミリー交流G: 6/16、妙法寺で「琴と舞踊り発表会」で留学生と一緒に琴の演奏。

7/6 湘南七夕まつりに、留学生7人を含め総勢19人が参加。

◇外国語学習G: 中国語講座(10人受講)とベトナム語講座(9人受講)がZoomでのクラスを継続。

◇社会見学G: 6/15 印刷博物館、かっぱ橋道具街見学会には留学生7人を含め24人参加。

地区交流会

◇東地区: 6/9にサポートセンターで対面式の交流会を実施。留学生を1人含め10人が参加。

◇西地区: 4/21にフレンズ戸塚で交流会を実施。9人が参加。

◇南地区: 6/9に5人が参加して対面式で交流会を実施。

◇北地区: 4/21に対面式交流会を実施。7人参加。

◇中央地区: 6/18にオンラインで4人参加して交流会を実施。

◇湘南地区：6/12に藤沢市民活動支援センターで交流会を実施。10人が参加。

委員会

- ◇会員委員会：新規入会員受入れ窓口、会員名簿更新管理、マッチングの推進。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 96 号の編集。PR 用カラーリーフレットの配架推進。RKK HP, Website の更新。
- ◇キャリア支援委員会：「キャリア支援オンラインサロン」を実施。新体制の検討。
- ◇企画委員会：会議室予約管理。25 周年記念プロジェクトの助成申請。
- ◇会計委員会：年会費の徴収、収支決算・事業計画予算作成、NPO 事業報告の作成と申請。
- ◇ICT 推進委員会：オンライン、ハイブリッド形式の支援。オンライン活用のソフト面のヒント収集。
- ◇事務室：事業計画・議案書作成・総会開催。「しおり」の編集。新年度体制の準備。

正会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKKでは下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な形で交流出来ます。

- ・日本語学習支援（留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします）
- ・文化・ファミリー交流（フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます）
- ・社会見学（工場見学、名所のハイキングに行きます）
- ・外国語学習（留学生が先生となって中国語・ベトナム語を勉強します）

RKK の活動に興味をお持ちの方は RKK のホームページをご覧ください。

NPO法人 留学生と語り合う会（RKK）

連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台9-1-12-407

Eメール：rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ウェブサイトののご案内

PCの場合はnpo rkkで検索、または<http://rkk.world.coocan.jp/>をクリック

スマホの場合には <https://sites.google.com/view/newrkk/> をクリック、

またはQRコードをご利用ください。

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKKニュース編集：RKK広報委員会 2024年夏号担当 西岡誉富 July 30, 2024

無断転載をお断りします。

